

講評シート

■キャラクター	評価
設定にのまれず、キャラクターに動きがあるか。	B
キャラクターが生き生き描けている	
キャラクターの感情や行動の理由が伝わるか。	
読者が感情移入するであろう瀧の思考や行動は理解できる	
キャラクターの関係性をきちんと描けているか。	
信頼関係を深めていく過程は描けていない	
キャラクターに共感できる要素があるか。	
瀧の悩みや目標がもう少し入れ込めると良い	
主人公は成長または変化するか。	
悩みや目標が薄いため、あまり成長・変化が見られない	
■ストーリー	評価
ストーリーに起伏はあるか。	C
ヤマタニが少ない	
エピソードがきちんとつながっているか。	
矛盾はないが、各エピソードのつながりは弱い	
ストーリーとキャラクターの感情・成長に関係があるか。	
感情には関係あるものの、成長とのつながりは弱い	
設定などに大きな矛盾はないか。	
矛盾はないが、各エピソードのつながりは弱い	
きちんと完結しているか。読後感のいい作品になっているか。	
完結できており、読後感も悪くはない。高揚感はやや薄い	
■文章	評価
日本語になっているか。「てにをは」が正しく使えているか。	B
「てにをは」が一部誤っているが、全体的には問題ない	
主語がはっきりとわかるか。	
書きすぎなところもあるくらいなので、少し削りたい	
ガイドはしっかり書かれているか。	
場所のガイドの提示がやや遅いシーンが散見した	
描写はしっかりとできているか、過不足はないか。	
状況描写はしっかり書けている、感情描写はやや不足	
■オリジナリティ	評価
他作品にない設定・ウリなどがあるか。	C
探偵ではなく助手に着目できている	
設定がストーリーの中にきちんと組み込まれているか。	
依頼解決の際に助手に徹している	
既存作品と似たようなストーリーになっていないか。	
依頼解決の流れは既存作品と似たものがある	
■時代性	評価
キャッチーさがあるか。	C
時代や読者層には合っているが、キャッチーさにはやや欠ける	
応募する賞の読者に合っているか。	
合っている	
☆総評	認定レベル
物語全体としてはまとまっている。文章も読みやすい。 主人公の成長とストーリーの盛り上がりを意識したい。	C

志望ジャンル：キャラ文芸

「探偵の助手はコーヒーが大好き」

講評

- ・プロット段階とは違い、滯がしっかりと主人公として活躍できています。聖は個性的なキャラクターを発揮しつつも事件を解決させる手助けに徹しており、助手らしさも演出できていると思います。
- ・祖母の宝石事件は現代らしく紛失に変更されており、志望ジャンルの的にも問題ないと思います。ただ、そのせいでエピソードのインパクトが薄れてしまい、実は紛失ではなく祖母自らが捨てたというオチも読んでいればすぐに予想がついてしまいそうです。話の筋はこのままにするにしても、あっと驚くような事実を入れ込みたいです。
- ・月子との勝負がダラダラしたものに感じます。依頼人を見つけて勝負する、を繰り返しているだけだからです。勝負は一回きりにして圧縮し、その代わりに祖母宝石事件と月子登場の間にもう1エピソード追加しましょう。滯が、私生活が謎に包まれている聖の秘密に迫ってみてもいいかもしれません。
- ・物語を通し、ヤマタニが乏しい印象があります。つまりは盛り上がりに欠けます。月子との勝負で滯と聖が引き離されるかもしれないなど、ピンチや障害、葛藤を盛り込みたいです。